

子ども、高齢者の居場所提供

放課後学習、健康づくり支援

「イチゴ教室」で、
訪れた子どもと交流
する学生たち



札幌のNPOが地域交流事業

介護予防運動の普及に取り組み認定NPO法人「ふまねっと」(札幌)は9月から、地域の子どもたちや高齢者の居場所づくり事業「イチゴ教室」を札幌市白石区の同法人事務所で始めた。学生ボランティアも参加し、放課後の学習支援や高齢者向け健康づくり教室を行う。コロナ禍で希薄になった地域住民の交流を促進し、孤立化の防止を図る。

(水野可菜)

教室は毎週木曜日の開催。開設時間は「イチゴ」に合わせて午後1～5時とした。同1～3時は高齢者向けの健康づくり教室を、同3～5時は子どもたちの学習支援を行う。

8日は健康づくり教室にお年寄り5人が参加し、学習支援には小学4年の女子1人が訪れた。女子は学生3人とテーブルを囲み、おやつをのんびり食べ、理科の教科書で星座について学んだ。参加した北大大学院生の菅野賢人さん(24)は「回を重ねると参加者同士が打ち解け、笑顔が増えるのがうれしい」と話す。

教室は、新型コロナウイルス感染拡大で、人と人との交流機会が減ったことから同法人が企画。認定NPO法人シリーズネット(札幌)と共同で独立行政法人福祉医療機構の助成金事業に応募し、採択された。以前から交流のあるNPO法人「ゆとり」(北広島)でも8月から同様の教室を開設している。

ふまねっとの理事長、北沢一利さん(59)は「何時に来ても、おしゃべりだけして帰ってもよい。住民のニーズを把握し、参加しやすい運営をしていきたい」と話し、教室の増設も視野に入れる。

教室の参加費は1日200円(18歳未満は無料)。問い合わせはふまねっと、電話011・807・4667へ。